

たまかわ

1996

7

No.359

空と緑“新”呼吸する

広報TAMAKAWA

夏本番
プールが一番!

玉川村消防団の現有勢力

平成8年4月1日現在

世帯数	1,758戸
人口	7,812人
消防団員数	305人
分団数	11
自動車ポンプ数	3台
小型積載車	8台
小型動力ポンプ	11台
水槽20立方米	11基
水槽40立方米	41基
消火栓	115基



大竹前消防団長の首頭で乾杯

祝賀会では、今回の民友旗受賞までの経過が関根副団長から報告されました。

戦前の警防団の時代から現在のまでの消防団の組織、施設整備、各表彰・竿頭授の受賞などが詳細に報告され、玉川消防団の歴史を顧みて出席者も改めて受賞の喜びを新たなものとしていました。

祝宴では、前村消防団長の太竹さんの音頭で乾杯をして、受賞の喜びとともに今後の村消防団の発展と予防消防を誓い合いました。

関根副団長より 受賞経過を報告

祝賀会では、今回の民友旗受賞までの経過が関根副団長から報告されました。

戦前の警防団の時代から現在のまでの消防団の組織、施設整備、各表彰・竿頭授の受賞などが詳細に報告され、玉川消防団の歴史を顧みて出席者も改めて受賞の喜びを新たなものとしていました。



祝賀会の様子

福島民友新聞社より 民友旗授与パネル が贈呈

祝賀会では、車田村長が「歴代団長の統率の下に一致団結して組織の強化、施設整備の充実につとめて今回の受賞に結びつきました。今回の受賞を契機として、消防団の使命の重大さを深く認識し、一層の精進をご祈念申し上げます」とあいさつ。次に佐久間副団長より「今回の受賞は、村当局をはじめ村議会並びに諸先輩と村民皆様の長年にわたる消防団に対する深いご理解とご支援の賜であり深く感謝申し上げます」とあいさつがありました。



木下民友新聞社々長から佐久間副団長へパネルが贈呈

受賞の感動を永遠に

5月29日に会津若松市で開かれた県下消防大会において、県内の最優秀消防団として村消防団が福島民友新聞社「民友旗」受賞の栄誉に輝きました。

その受賞を祝う祝賀会が、6月30日午後3時からマーヴェラス末広で盛大に開かれました。祝賀会には、歴代の消防団長をはじめ、消防団員、村関係者、県と石川管内町村関係者約160名が出席し晴れの受賞を喜び合いました。

盛大に「民友旗」受賞祝賀会

歴代消防団長

- 初代 故大 越一 良氏 七代目 藤田 金二氏 昭30・3～31・5
- 二代目 故大和田 重正氏 八代目 境田 孝意氏 昭31・5～35・5
- 三代目 故大 越力 夫氏 九代目 仁井田 保雄氏 昭35・5～39・5
- 四代目 故小 針保三氏 十代目 小原 明昭氏 昭39・5～43・5
- 五代目 須田 莊助氏 十一代目 大竹 勝義氏 昭43・5～47・5
- 六代目 佐久間 倉太氏 十二代目 佐久間 安直氏 昭47・5～51・5



福島民友新聞社「民友旗」受賞

消防団長OBが集結

歴代の消防団長(須田莊助さんは、都合により欠席)6名が祝賀会に出席されました。栄光の「民友旗」受賞に、団長OBの皆さんも感慨ひとしおのようすでした。

- 県消防協会長竿頭授賞。昭55・4・1 団員定数の改正により305人となる。
- 昭56・5・28 消防施設優秀により県知事竿頭授賞。
- 昭60・6・27 消防訓練技術優秀により県知事竿頭授賞。
- 昭61・5・23 優良消防団として県消防協会長表彰旗授賞。
- 昭63・8・25 県消防操法競技会小型ポンプの部優勝。県知事竿頭授賞。
- 平2・5・11 最優秀消防団として福島民報社金ばれん受賞。
- 平4・2・13 優良・消防団として日本消防協会長表彰旗授賞。
- 平6・8・26 第29回福島県消防操法競技会小型ポンプの部優勝。福島県消防協会竿頭授賞。
- 平6・10・13 第14回全国消防操法大会小型ポンプの部出場。日本消防協会長竿頭授賞。
- 平7・3・3 消防庁長官竿頭授賞。
- 平8・5・29 最優秀消防団として福島民友新聞社民友旗受賞。

村消防団のあゆみ

- 昭14・4・1 消防組が廃止され消防団が組織される。
- 昭23・3・7 消防団が廃止され消防団となる。
- 昭30・3・31 町村合併により、泉・須釜村消防団が合併し玉川村消防団となり11分団357人で組織される。
- 昭37・2・7 消防ポンプ自動車を小高分団に配備。
- 昭38・4・1 玉川婦人消防隊が組織される。
- 昭45・4・1 団員定数の改正により325人となる。
- 昭48・2・10 優良消防団として日本消防協会長竿頭授賞。
- 昭48・4・1 須賀川地方広域消防組合発足。
- 昭49・1・24 消防ポンプ自動車を南須釜分団に配備。
- 昭49・4・1 広域簡易水道布設により消火栓23基設置。
- 昭50・8・5 消防ポンプ自動車を竜崎分団に配備。
- 昭51・4・1 団員定数の改正により308人となる。
- 昭53・8・25 県消防操法競技会小型ポンプの部第5位。

泉中学校 須釜中学校 創立50周年記念事業のお知らせ

泉創立50周年記念事業実行委員会からのお知らせ

平成8年5月24日(金)開催の実行委員会の結果、〔記念事業計画〕を皆様にお知らせいたしますのでご協力とご理解をお願いいたします。

- (1) 記念式典
平成8年10月27日(日)午前8時30分～9時10分
- (2) 記念事業
 - ①記念品
 - 関係者と職員に同窓会名簿を贈る。
 - 中学校に備品を贈る。
 - ②記念誌
 - 50年の歩みを綴る。
 - 500部作成する予定。
 - ③同窓会名簿の作成
 - 第1回卒業生から第50回卒業生までとする。
 - 作成は業者に任せる。完成は8月末の予定。
 - 希望する人は、1冊3,840円で購入して頂く。
 - ④学校祭時の文化事業に援助する。
 - 須釜中学校と合同で、ピアノリサイタル、盲目のピアニシャン大島彰氏の講演会。

実行委員長 仁井田保雄(泉中同窓会長)

須釜中創立50周年記念事業実行委員会からのお知らせ

昨年、創立50周年記念事業準備委員会を結成し、今年4月に実行委員会に切り替えました。記念事業費を400万円に設定して、歴代PTA会長をはじめ、地区民、PTAが一丸となって寄付を募り、事業の成功に向けて取り組んでおりますので、ご支援とご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

- (1) 記念式典
平成8年10月20日(日) 午前8時30分～
- (2) 記念事業
 - ①創立50周年記念誌(同窓会名簿含)の作成
 - ②記念品
 - 中学校に校旗の贈呈をする。
 - ③演劇鑑賞会の開催
 - 劇団ブーボによる演劇の上演会を行う。
 - ④学校祭時の文化事業に援助する。
 - 泉中学校と合同で、ピアノリサイタル、盲目のピアニシャン大島彰氏の講演会。

実行委員長 石森春男(須釜中PTA会長)



交通安全子供自転車大会
玉一小V6達成

さる6月5日に古殿町立田口小学校で石川地区交通安全協会と石川警察署主催による第18回石川地方交通安全子供自転車大会が開かれました。

石川郡内の小学校から7チーム(1チーム4名編成)が参加して、学科テスト、安全走行テスト、技能走行テストにより競技が行われました。

競技の結果、玉川一小Aチームが優勝し、平成3年度の第13回大会から6年連続優勝を達成しました。

また、個人部門でも真弓英樹君(蒜生)が優勝、曲山幸則君(蒜生)が準優勝を飾りました。

なお、優勝した玉川一小Aチームは、県南大会へ出場しました。

(玉川一小Aチーム)
●真弓英樹君⑥(蒜生)
●矢吹寿洋君⑥(小高)
●曲山幸則君⑥(蒜生)
●倉鎌 聡君⑤(岩法寺)
(○数字は学年)

県南大会
真弓君が3位

7月6日(日)に郡山市の朝日小学校を会場に県南大会が開かれました。団体では惜しくも入賞を逃しましたが、個人で真弓英樹君が第3位入賞を果たしました。また、5年生の倉鎌聡君が努力賞を受賞しました。

中体連石川支部総合体育大会 泉中が野球、女子バレー、女子剣道で優勝

平成8年度の中体連石川支部総合体育大会は、6月5日、6日の2日間、石川町をメイン会場に熱戦が繰り広げられました。大会では、泉、須釜の両中学校が大活躍、各種目で上位入賞を果たしました。詳しい成績は次のとおりです。(敬称略)



泉中バレーチーム

泉中野球チーム

- 野球
 - 優勝 泉中学校
 - 女子バレーボール
 - 優勝 泉中学校
 - 準優勝 須釜中学校
 - 卓球
 - (男子)
 - 個人ダブルス準優勝 八代雄嗣・遠野卓也 組 (須釜中)
 - (女子)
 - 団体準優勝 須釜中学校
 - バスケットボール
 - 女子バスケットボール
 - 第3位 泉中学校
 - 剣道
 - (男子)
 - 団体準優勝 須釜中学校
 - 個人第3位 石井清智(泉中)
 - (女子)
 - 団体優勝 泉中学校
 - 団体第3位 須釜中学校
 - 個人準優勝 石井明子(泉中)
 - 個人第3位 石森美由紀(須釜中)
 - 個人第3位 須藤美幸(泉中)
 - 柔道
 - (男子)
 - 団体準優勝 森 隆行(泉中)
 - 個人第3位 小針貴史(泉中)
 - 第3位 大竹正和(泉中)

以上の団体及び個人と男子剣道個人5位草野孝弘、7位塩沢康行、女子剣道個人5位鈴木祐子、8位太田智子(い)

須釜中 県南大会で大活躍

鈴木・榊枝組 卓球女子ダブルス 優勝

女子剣道 2位・女子バレー 3位

中体連県南大会は、6月19日に白河市をメイン会場に開かれました。大会には、石川・東白川・西白河の各支部大会を勝ち抜いた団体及び個人が出場。競技の結果、女子卓球個人ダブルスで須釜中の鈴木弥生選手と榊枝由紀子選手のペアが見事優勝を飾りました。そのほかに須釜中は、女子剣道団体で準優勝、個人で石森美由紀選手が準優勝。女子バレーボールで3位となり県大会出場のカップを手に入れました。

泉中も女子剣道団体で3位、個人で須藤美幸選手が3位、石井明子選手が5位に入賞し県大会への出場を決めました。

また、卓球女子シングルス



女子卓球ダブルスで優勝した鈴木さんと榊枝さん(左)

”村を美しく“を合言葉に

花いっぱい運動始まる

玉川村花いっぱい運動協議会では、5月24日に平成8年度の事業計画を決定しました。この事業計画により去る6月15日から23日までの9日間にわたって、老人クラブをはじめ村内32のボランティア団体が花の苗の地植え作業を行いました。



植栽作業に汗を流すボランティア

されたマリーゴールド、サルビアの苗が植栽されました。今回、地植えされた苗は約4万本。マリーゴールドもサルビアも昨年よりはやや小振りの種類となりましたが、色の種類を増やしたり、植えつけの配列などに工夫がされています。植栽された草花は、梅雨の雨水を吸い取り、色とりどりの花を咲かせ始めています。

プランターにも植栽

花いっぱい運動協議会では地植えのほかにプランターの植栽も行いました。今年、約300鉢のプランターにペチュニアの植栽が行われました。プランターで栽培された花は、開花時に村内の各公共施設に飾られることになっています。



花も咲きはじまりました



植栽後の除草作業

可憐なウチヨウランが勢ぞろい

玉川山野草展

玉川山野草会では、6月29日、30日の両日、村就業改善センター産就室にて、「第40回玉川山野草展」を開きました。



会場には、山野草会の会員が丹精込めたウチヨウランやシダ類など234点が展示され多くの山野草ファンが訪れました。また、出品されたものを対象に、競技会が行われ、たちばな園芸の小針正一さんが審査員となつて各賞が決定されました。

なお、受賞者は次のとおり。

部門	ウチヨウラン		一般山野草		競技の部
	一般の部	造形の部	一般の部	造形の部	
各賞	車田常代				溝井良仲
村長賞	溝井博道				
福島民報社賞		車田常代			
あつみ観光社賞					
会長賞	溝井良仲		溝井治男		
金賞	草野光雄	有賀勝	奥野四郎		奥野四郎
銀賞	小山田タリ	大野勝良	双里トク	車田常代	車田常代
銅賞	石井スイ子	車田登茂	伊東教子	石井スイ子	久保木徳雄
特別賞	福田瑞夫	大野勝良	溝井博道	溝井博道	車田光雄
努力賞			車田光雄	大野勝良	小山田タリ

林野庁長官賞 馬上久光さん 受賞

6月19日(水)、埼玉県久喜市の久喜総合文化会館にて第29回全農乾椎茸品評会が開かれました。

本村から先に県の品評会で知事賞を受賞(5月号に掲載)した馬上久光さんの「花どんこ」が出品され、林野庁長官賞を受賞しました。今回の品評会には、全国から各県の予選を通ってきた約1,000点が出品されました。林野庁長官賞は、農林水産大臣賞に次ぐもので「花どんこ」の部の全国第2位ということになりました。

6月20日に役場を訪れ村長に受賞を報告しました。「さすがに全国大会はレベルが高いです。上の人(農林水産大臣賞受賞者)との差は、かなり開いているんです。」と謙遜しながらも、日本一への意欲がうかがえました。

評価のポイントとしては、傘の裏のヒダを立てて色も山吹色のような色を出すことが必要だそうで、報告を受けた村長も「玉川の林産品の高品質が立証されました。今後とも技術の向上に努めてください」と激励しました。



村長に報告する馬上さん



林野庁長官賞を手にする馬上さん

13名が無投票当選

玉川村農業委員会委員一般選挙

玉川村農業委員会委員一般選挙は、7月2日の告示日に立候補届出の受付を行ったところ、13名の届出がありました。選挙すべき委員の数13名を超えなかったことから無投票となりました。

選挙管理委員会では、7月7日午前9時に役場北庁舎で選挙会を開き、4人の選挙立会人のもとで奥野義章選挙長が当選者を決定しました。同日午前9時30分から当選証書付与式が開かれ当選者に当選証書が付与されました。

なお、今回当選された委員の任期は7月20日から3年間となります。

- 当選者は次のとおりです。
(立候補届出順、敬称略)
- 圓谷 房夫 無 現 59
 - 関根 正敬 無 新 52
 - 岩谷 利秋 共 現 48
 - 矢部 茂政 無 現 55
 - 須釜 壽男 無 新 54

- 溝井 鐵彌 無 現 56
- 鈴木 茂夫 無 現 51
- 小林 邦男 無 現 57
- 田子 仙治 無 現 46
- 塩澤 良國 無 現 57
- 瀬谷 武義 無 新 55
- 須藤 利夫 無 新 47



奥野委員長から当選証書を付与



踊りを披露する佐藤さん



須釜小6年2組の児童と利用者

ふれあいセンター介護者教室

7/1

福島空港で七夕祭り

七夕を間近に控えて空港ターミナルビル内でJAL(日本航空)七夕祭りのキャンペーンが行われ、いずみ幼稚園のはな組とほし組の園児43名が笹竹に短冊や七夕飾りを行いました。

短冊は、先に行われた父兄参観日の際に親子でそれぞれ

佐藤さんと須釜小児童が協力

この日のふれあいセンターの介護者教室に佐藤清子(せいこ)さん(蒜生)と須釜小学校の6年2組の児童21名(増子宏子先生担任)がボランティアとして協力しました。

午前中は、新邦楽舞踊若泉流指導員の佐藤さんが舞踊を披露しました。鮮やかな衣装と華麗な舞に利用者から盛んな拍手と喝采を浴びていました。

午後は、須釜小の6年生と

6/20

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—

役場総務課 広報広聴係まで

の願いごとを書いたものが飾り付けられました。

父兄の短冊は、ほとんどが「健康」「元氣」「丈夫に」の文字があり、子供たちの短冊には将来の職業やほしいおもちゃの名称などが書かれていました。飾りつけには、JALのグランドホステスが浴衣姿で園児の飾り付けを手伝いました。

七夕飾りは、7月7日までJALカウンター前に設置されました。



6/9

小学生陸上競技県南大会 400Mリレー

玉一小3位入賞

第12回全国小学生陸上競技交流大会県南地区予選会が白河市の白河中央スポーツ公園陸上競技場で行われました。

大会は、県南地区36校41チームが参加して行われ本村から玉川第一小学校が400メートルリレーに第1走者小針尚君(中)、第2走者曲山和宏君(蒜生)、第3走者斎藤文典君(中)、アンカー小針和章君(中)、補欠真弓英樹君(蒜生)の5名の選手をエントリーしました。

玉一小チームは、予選第2組を1位で通過、決勝戦では、56秒7の記録で見事第3位に入賞しました。顧問の阿部先生も「個々の力が十分発揮できて入賞することができました。県大会でも十分に力を出してがんばりたいと思います」と話していました。

県大会は、7月28日(日)に鏡石町の鳥見山陸上競技場で行われます。



賞状を手にする選手

6/8

東北郵政武道大会

小針さんが優勝

大会では剣道・柔道・弓道の三種目が行われ、玉川村郵便局職員の小針周吉さん(中)が剣道40歳以下の部門に東北各県からの23人の強豪とともに出場して熱戦を繰り広げました。大会はトナメントで行われ、決勝戦では山形市の選手

と対戦し、得意のメンを決めて見事栄冠を手に入れました。小針さんは、現在、剣道五段で、3年前の同大会でも優勝しています。自身の練習のほかに、毎週火曜日と金曜日には、玉川村少年剣友会の指導者として、青少年スポーツ振興に尽力されています。

「今回優勝できたのも毎週一緒に練習してくれる子供たちの応援のおかげです。」と喜びをかみしめていました。

9月に石川県金沢市で行われる全国大会での健闘が期待されます。



小針さんと練習生の子供たち

6/7

消防操法競技会 選手団結団式

第42回福島県消防操法競技会石川支部大会は、7月28日(日)石川町民グラウンドで行われます。本村からの出場団員の団結式が村就業改善センターで開かれました。

今回出場するは、小型ポンプの部に北須釜分団(瀬谷房之分団長)、ポンプ車の部に南須釜分団(大野進分団長)が出場します。

式では、車田村長と佐久間団長から激励のあいさつと村と消防団から激励金が贈られました。(敬称略)

出場団員は次のとおりです。

◆小型ポンプ車の部			◆ポンプ車の部		
指揮者	草野 直幸		指揮者	大野 政幸	
1番員	鈴木 政義		1番員	大越 健一	
2番員	小針 和之		2番員	小原 久典	
3番員	矢吹 正		3番員	近内 正浩	
補充員	鈴木 正		4番員	関根 和宏	
			補充員	阿部 公平	



車田村長から激励のあいさつ



ソフトボール決勝戦のプレー

村民球技大会

小高区がアベックV

第26回村民ソフトボール大会と第35回村民家庭バレーボール大会は、玉川村民グラウンドと玉川勤労者体育センターで開かれました。

ソフトボールに10チーム、バレーボールに11チームが参加して行われました。

両会場とも大熱戦が繰り広げられ、ソフトボールとバレーボールとも小高チームが優勝しました。なお、それぞれ

の優勝、準優勝チームは、7月14日に平田村で行われる石川郡大会の出場権を得ました。成績は次のとおりです。

◆ソフトボール		◆バレーボール	
優	勝々小高	優	勝々小高
準優勝	中	準優勝	南須釜
3位	川	3位	川
4位	川	4位	川

6/9



福島空港七夕祭り

7月・8月の健康ごよみ

- 7月
- 26日(金) 3歳児健診 保 受
 - 午後1時
 - 30日(火) ツベルクリン反応検査 保 受
 - 午後1時
 - 31日(水) ツベルクリン反応検査 須 受
 - 午後1時
- 8月
- 1日(木) すくすくクラブ 保 受
 - 午前9時30分～
 - ツベルクリン判定及びBCG接種 保 受
 - 午後1時～
 - 2日(金) ツベルクリン判定及びBCG接種 須 受
 - 午後1時
 - 9日(金) 乳児健診 保 受
 - 午後1時～
 - 14日(水) 股関節脱臼健診 石 受
 - 午後1時～2時

保:保健センター 須:須釜公民館
石:石川保健所
受:受付時間

伝言板

消防職員募集

平成9年度須賀川地方広域消防組合消防職員(高卒程度)採用候補者試験を次のとおり実施します。

※職種及び採用予定人員
消防職 若干名

※受験資格
昭和46年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた者

※試験の方法

- ①第1次試験…筆記試験(高卒程度)
- ②第2次試験…第1次試験合格者に対して口述試験、体力検査、健康診断。

※試験の期日及び場所

- ①第1次試験～9月22日(日)須賀川市役所
- ②第2次試験～11月上旬の予定

詳しいことは、須賀川広域消防本部総務課職員係
(☎0248-76-3111)までお問い合わせください。

個人事業税の納期のお知らせ

個人事業税とは、個人で事業を行っている方に課税される税金です。

個人事業税は、第1期分が8月末日、第2期分が11月末日と通常2期に納期限が定められておりますが、今年の第1期分の納期限は、休日となっておりまして9月2日(月)となります。

納税は、県中地方振興局県税部から送付される納税通知書により、最寄りの金融機関から納期限までに納めてください。

なお、便利な口座振替制度もありますので、県中地方振興局県税部にお申込みのうえご利用ください。ただし、今回の口座振替制度の利用を申し込まれますと、第2期分から口座振替となります。

お問い合わせ先 福島県県中地方振興局県税部 TEL(0249)35-1241・35-1251

やさしいまちづくり推進資金 申込み受付中

人にやさしいまちづくりを推進するため、お年寄りや体の不自由な方に配慮した民間の建物の新築・増改築工事に、資金の低利融資を行っています。

▶年率3%で、5千万円まで融資できます。

▶融資の対象となるのは、商店、飲食店、旅館、理容所、美容所、薬局など、不特定多数の方が利用する建物へ、自動ドアやスロープ、車いす用トイレなどを設置する工事です。

▶お申し込みは、東邦・福島・大東の各銀行又は県内各信用金庫まで。

▶お問い合わせは、県庁長寿社会対策室又は最寄りの県社会福祉事務所、いわき地方振興局まで。

福島県医務福祉課長寿社会対策室
〒960-70 福島市杉妻町2-16 ☎0245-21-7277 FAX 0245-21-7958

みんなでつくろう! うつくしま未来博

うつくしま、ふくしま、県民運動のシンボル事業「うつくしま未来博」は、「美しい空間 美しい時間」をテーマに、21世紀スタートの年である平成13年(西暦2001年)に開催されます。

会場は、須賀川市が福島空港近くに整備を進めている須賀川テクニカルリサーチガーデン用地内、期間は7月から10月にかけての約90日間で、福島県の総人口程度の入場者を目標としています。

この未来博では、質の高いライフスタイルの実現を可能とする新しい地域づくりについて、みんなで考え、発信していくことにしています。

このため、皆さんから「未来博ではこんなことを」という夢やアイデアをいただきたいと思ひます。どのような御意見でも結構です。お気軽にお寄せください。

〒960-70 うつくしま未来博協会
(福島県企画調整部企画調整課うつくしま未来博準備室内) FAX0245-21-7911
TEL0245-21-7094

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●鈴木正賢さんから東京玉川会総会の際に	1万円
●中の小針章勇さんから	5万円
●南須釜の大木義雄さんから	2万円
●竜崎の馬場進さんから	2万円
●岩法寺の矢吹常吉さんから	3万円
●南須釜の大野清人さんから	2万円

(村社会福祉協議会)



お盆のし尿汲み取りとごみ収集のお知らせ

◆し尿汲み取り
お盆前にし尿汲み取り希望の方は8月2日(金)までに申し込んでください。8月14、15、16日は汲み取り作業は行いません。

◆ごみ収集
8月14、15、16日も平常どおり行います。石川地方生活環境施設組合

玉川駐在所からのお知らせ

オウム真理教特別指名手配者が本村近隣に立ち寄る可能性があります。お心当たりの場合は、至急110番へまたは、フリーダイヤル0120-006024(オウムワ24時間)までご一報ください。

玉川村短歌会佳作抄

吾娘の家に暫く振りの浪まくら夜半に聴こゆる遠き海鳴り
幼な日の泥んこまみれに焚火して待ちいし母をまた想い出す
歩くことは健康のもとと医者はいう鈍の一念実行の日日
焼芋屋の笛に背の孫調子とりはやくはやくとわれをあゆませ
畦道を駆けつ戻りつ小犬にも動ける範囲の紐がついている

小針 登里
小針 みね子
小針 守次
曲山 きくみ
小針 愛子

村公民館

村のようす

(8年7月1日現在)

- 1,719戸(+2)
- 7,618人(±0)
- 3,740人(+1)
- 3,878人(-1)

お誕生おめでとうございませす

地区	出生児氏名	保護者名
蒜生	曲山 駿	浩 範
岩法寺	瀬谷 優人	幸 二
竜崎	藤井 美里	克 彦
南須釜	柴原 直人	中 也
〃	大和田 啓亮	誠
吉	近内 ひかり	弘 道

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
中	小針 ナカ	90	章 勇
岩法寺	矢吹 タカ	90	常 吉
南須釜	大野 隼久	77	清 人

今月の納税

国民健康保険税 1期分
国民年金 7月分

【納期限は7月25日(木)です。忘れずに納めましょう!】

平成8年度自衛官募集案内

募集種目	資格	受付	試験日	試験場	待遇・その他
航空学生	高卒(見込) 21歳未満者	8月1日 ～9月9日	1次 9月23日 2次 10月16～20日 3次(空)11月17日～12月13日	1次 郡山駐屯地	入隊後、約6年で3等海・空尉
一般曹候補学生	18歳以上24歳未満者	8月1日 ～9月9日	1次 9月16日	会津中央自動車学校 内郷コミュニティセンター 郡山市労働福祉会館 建設会館相馬支部 白河中央公民館 福島駐屯地	修学年限2年、卒業時3等陸・海・空曹
曹候補士	18歳以上27歳未満者	8月1日 ～9月9日	2次 10月3～8日		入隊後3年以降選考により3等陸・海・空曹

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集

恩師を訪ねて②

木田重喜先生

「先生が須釜中に勤務されたキッカケは…」

「復員後、家族の疎開先の小高に住んでいるとき草野啓作先生から「須釜中の先生が足りないので協力してくれないか」と誘われたのが教職に入るキッカケでした」

「須釜中が開校された当時の様子はいかがでしたか。」

「小学校の校舎の奥を間借りして授業をしました。昭和26年に新校舎が建てられました。私は残念ながらその校舎には入れませんでした。」

「教科は何を担当されていたんですか。」

「英語を担当しましたけど、先生が少なかったので国語や



中央大学法学部卒。「主婦の友」社に勤務後、応召し中国へ。終戦後、教員となり須釜、野木沢、石川、小平、中谷の各中学校に勤務して昭和48年3月中谷中学校校長を最後に退職。現在、石川町長寿会連合会長、石川町老人クラブ連合会長として活躍。石川町古町の自宅に奥さんと長男夫婦孫の7人暮らし。81歳。

「クラブ活動の思い出は？」

「バレーボール部の顧問をしました。泉中学校と練習試合」

「趣味は、読書とか音楽を聴くことです。音楽はジャンルを問わずなんでも聴きます」

「81歳には見えない若々しさが印象的でした。戦後の貧しい時期でしたが心はとても豊かで、良い生徒と地域の人たちに恵まれて楽しかったことを何度も話していました。」

「先生と一緒歩きました。」

「歩いて通いました。高原博司先生と一緒に歩きました。」

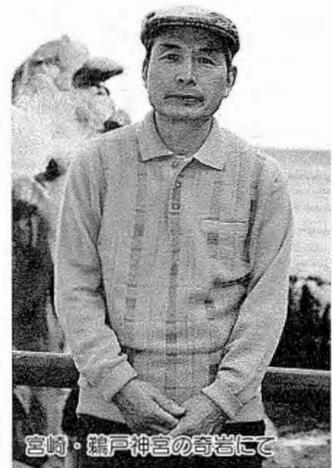


シリーズ「たまかわの俗地名」
『ポンカリ』の由来 (蒜生)

地域の昔人達が生活の中で係わりをもち由来や伝説に因んだ農地、土地、地形等に俗地名といわれるユーモラスな地名が蒜生地区内にも数多く存在しています。しかし、戦後の急激な社会変革、特に農地構造の改善事業により地名、地形等の由来と共に伝承されてきた俗地名を現代生活の中から言葉にすら語られることなく消滅しそうな現実を見ると何か淋しさを感じます。ふる里の歴史を貴重な文化遺産として社会がどんなに変化しようとも忘れ去ることなく

正しく伝承したいものと私は考えています。さて、私たち蒜生区内の俗地名を紹介しましょう。鬼測地内に「ポンカリ」と言われている地名があります。古老達からの話によると明治の中期まで水車小屋があり夜昼なく「ポンカン、ポンカン」と杵音を響かせていたことから「ポンカリポンカリ」と呼ぶようになったと伝えられています。その場所は現在、玉川運送さんの車庫付近であると言われています。(真弓政典)

たまかわの皆さん
お元気ですか
—東京玉川会員だより—
『緑と調和のとれた発展を』



神奈川厚木市 吉村悦男さん(南須釜出身)

「ここ数年、異常気象に見舞われ農業をされている方はいろいろと苦労されている事と思いますが、玉川村の皆様お元気にお過ごしですか。」

「福島県の玄関として、多くの方が効率良く、多目的に時代を先取りして暮らし良くなったと思われれます。」

「二年に一度位は故郷に帰っておりますが、帰る度に村が発展し、遂には福島空港が出現したのには、ただただ驚くばかりでした。」

「東京玉川会には二度出席していますが、会の役員並びに村役場の方々のご努力によって盛大に行われており同級生数人と一緒に参加させて戴いています。」

「四十数年前、村を後にし上京する時には、想像も出来ない事でした。あの故郷の山が無くなり近代的な空港が出現したのですから…」

「昔なじみの生の情報を聞いたり又昔話に花が咲き、尽きることがありません。更に二次会にまで進展し、名残りを惜しみながらまたの再会を楽しみに解散するという次第です。」

「あなたの故郷はどちらですか?」とよく聞かれます。「福島県の玉川村です。」と答えても以前は首をかしげる人が多かったのですが、最近では「福島空港のある所ですよ」と胸を張って答えるとすぐに納得して貰えるようになりました。」

最後に私の望みを一言申し上げますと、村の発展も勿論大切ですが、故郷に帰って気持ちが悪く落ち着くのは、子供の頃に良く遊んだ山や川を見ることにあると思います。緑と調和の取れた村の発展を望んで止みません。」